

おうみはちまん

オープニングイベント



安土・老蘇まち協バンドによる演奏

ボランティア活動発表



主任児童委員による布芝居

手話ワンポイント講座



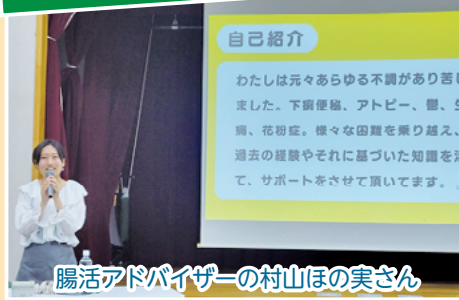
聴覚障がい者のみなさんと手話通訳員

聴導犬活動紹介



聴導犬ユーザー五十嵐さん、訓練担当中村さん、聴導犬パルムさんによる活動紹介

陽活セミナー



陽活アドバイザーの村山ほの実さん

着ぐるみ・販売コーナー



びわっ湖ミンジー&キャッファイ

スタンプラリー



防災飯試食

デイサービス体験

アイマスク・車いす体験

あそびコーナー



バルーンアート

こどもコーナー



おもちゃ病院

おもちゃ図書館

第1回近江八幡市福祉フェスティバル (第14回社会福祉大会) ~あそびにおいでよ!笑顔でふくし~を開催!!

9月29日(日) ひまわり館において福祉フェスティバルを開催。広く一般の方にも参加いただけるイベントにしていきたいという思いで、従来の社会福祉大会と福祉フェスティバルと一緒に開催する運びとなりました。

当日は天候にも恵まれ、多くの市民のみなさんに参加していただくことができました。来館されたお客さまより「楽しかった」「いろいろ学べてよかった」「聴導犬がかわいかった」など多数のお声が寄せられました。また次年度に向け楽しいイベントを考えていきたいと思ひます。

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いします。

赤い羽根共同募金オリジナルバッジ



最優秀賞を授賞された加藤諭美さんの近江八幡の水郷巡りをイメージした作品を基にバッジを作成。街頭募金などでご寄付いただいた方にお渡します。



おめでとう
ございます

社会福祉大会表彰者の皆さん

永年本市の地域福祉の発展にご尽力いただいた方々に、感謝の意を表するため、近江八幡市長表彰及び市社協会長表彰を行い、また、社協・社会福祉活動に対し、多額の寄付をいただいた方々に感謝状を贈呈いたしました。今後とも、市の地域福祉の発展のために、ご協力をお願いいたします。表彰者等は次のとおり。

受賞者ご芳名 (順不同・敬称略・常用漢字で記載しております。)

市長表彰 (40個人・4団体)

東 敬子	佐々木 常雄	水谷 初江	井狩 義夫	西川 高志	辻 佳代子
白井 まつ枝	臼井 久子	川嶋 弘美	河村 加恵	西川 直廣	堀尾 秀治
中島 義子	井上 幸子	三澤 慶子	堀川 賢治	栗本 峰男	蔵立 清和
布施 千加子	木下 修	吉田 輝雄	森岡 淳子	三崎 克己	坂井 近
佐野 絹子	長尾 正倅	川口 真理子	福井 治義	赤嶺 聖子	岩下 明
木俣 幾和	中川 次代	駒井 博香	西村 利夫	林 久則	安田 行
西田 光希	大谷 芳子	亀井 正代	上田 きみ		
東老蘇高齢者サロン「茶連者」			石寺高齢者サロン「やまびこ会」		
安土ニュータウンふれあいサロン「憩いの日」			小中ふれあいサロン「おしゃべり会」		

社会福祉協議会長表彰 (24個人・10団体)

川口 高弘	辻井 美恵子	斎藤 純代	塚原 公子
平尾 巳三男	竹岡 正子	東 登代美	川村 裕治
重野 昭	坪田 清美	藤井 千恵子	氏田 凱之
國米 飛鳥	山田 千亜紀	北川 のぶ子	廣瀬 絵理佳
倉田 沙季	堀口 和加子	横木 薫	山本 亜紀
岡地 輝	酒井 将里	北川 みち子	池田 俊美
ひむれ点訳グループ	手話サークル連絡協議会		
要約筆記サークルすいごう	ワールドアミーゴクラブ		
あづちわくわくおっぱい塾	上豊浦見守り支えあいネットワーク		
大中ふれあいサロン	上豊浦ふれあいサロンこけんとこ会		



社協会長表彰で氏田さんが代表受領されました。

東町ふれあいサロン福祉会かいつぶり
西老蘇高齢者サロンまゆの会

社会福祉協議会長感謝状 (7団体)

近江八幡商工会議所・安土町商工会合同地域福祉チャリティゴルフコンペ
株式会社かんき建設かんき建設リボン倶楽部 八幡学区社会福祉協議会
岡田琴千流 大正琴 淡海ちぐさ会 岩倉町水車の会 一般社団法人近江八幡青年会議所
関西遊技機商業協同組合

令和6年度おうみはちまん赤い羽根共同募金バッジデザイン表彰

おうみはちまん赤い羽根賞 (最優秀賞)	：加藤 諭美		
近江八幡市社会福祉協議会会長賞 (優秀賞)	：赤松 真幸	池田 絢美	輪違 なつみ
支えあい賞 (奨励賞)	：岡本 歩子	三浦 芽依	船川 悠大
	中嶋 咲良	葛畑 諒成	丸山 美和

歳末たすけあい募金

みなさまのあたたかいご支援をお願いします。

歳末たすけあい募金は、赤い羽根共同募金の一環として、12月1日から運動が始まります。

スローガンは、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」。
皆さまからお寄せいただいたあたたかい募金は、全額近江八幡市の地域福祉活動に活用されます。今年度も各学区社会福祉協議会が行う地域福祉活動の充実や生活に困窮される人々の支援等に活用させていただく予定です。

令和6年度 歳末たすけあい募金目標額 **4,350,000円**



募金の方法

- 戸別募金・・・自治会を通じて各世帯にお願いします。
- 街頭募金・・・各学区コミュニティセンター、社会福祉協議会、市役所総合窓口の設置募金箱
- その他・・・インターネット募金（近江八幡市社会福祉協議会HPでQRコード掲載）

10月1日赤い羽根共同募金街頭募金を行いました。

近江八幡駅周辺と8か所の量販店で募金活動を行いました。募金をしていただきましたみなさま、募金活動にご協力いただきました高校生、地域のみなさま、ありがとうございました。

また、募金活動にご協力いただきました量販店のみなさま、感謝申し上げます。



「PayPay」による募金ができるようになりました。




あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
GEM代理店 **株式会社スマイル&マインド**
〒523-0892
近江八幡市出町416-13
電話番号 0748-36-2190
FAX番号 0748-36-2191

地球にとって、地域にとって、企業にとって、Social Goodな存在へ
ソーシャルグッドプロデュース企業への進化

Social GOOD
Produce
EINS



アインズ株式会社
☎ 0748-58-8101 www.shiga-web.or.jp/eins/



令和6年度 福祉協力員ステップアップ研修を実施

9月4日・7日の2回に分け、昨年度に引き続き令和6年度福祉協力員ステップアップ研修を実施しました。今回の研修は市内の福祉協力員さん、学区域の生活支援グループの方々を対象に実施しました。地域で孤立している人に気づき、つながり、必要な機関につなげ、その後も見守っていくための具体的な手法について学ぶ研修です。

9月4日はルーテル学院大学総合人間学部 福島 喜代子教授をお招きし、相手の立場に立って考えるロールプレイを用いてより深い具体的な手法を学ぶことができ、福島教授の軽快な楽しいお話で大いに盛り上がった研修となりました。



9月4日 実例の共有や役割に分けてロールプレイを行い、福島教授の説明もあり、より高度で大変有意義な研修となりました。



9月7日 小グループに分かれ、声掛けの仕方など疑問を出し合い意見交換を行いました。

9月7日の研修では、主に初めて受講する方を対象に動画とグループワークによる研修を行いました。

社会福祉協議会は、これまで地域の皆さんと一緒に、地域の困りごとに合った見守り支え合いの活動を推進し、困っている人をキャッチしてどのように解決をはかっていくかを皆さんと一緒に考えてまいりました。その中で「孤立している人にどんなふうに声掛けしたらいいかわからない」「個人のことにごくまで踏み込んだらいいかわからない」「関係機関につなぐときにどう伝えたらいいかわからない」などの声をいただっており、少しでもその悩み解決につなげられるよう、社協も一緒に考えて行けたらと思っています。

ステップアップ研修は2日間で約80名の参加があり、「福島教授のお話がわかりやすかった」「研修の内容が理解しやすかった」「実践ですぐ使うことができるのでよかった」などの意見をいただきました。今後の各地域でのご活躍を期待しています。

災害ボランティア講座を開催しました！

9月14日にひまわり館にて、災害ボランティア講座を行いました。

今回はシンポジウム形式の講座で、能登半島地震の被災地支援の経験を医療、行政、企業のそれぞれの立場からお話いただきました。約50名の参加があり、「市内の企業さんの取り組みを知って心強く感じた」「日頃の備えが大切だと感じた」といった感想が寄せられました。近江八幡市社会福祉協議会では、地域の皆さんと災害時に備えて、学びを深めて行けるよう今後も取り組んでまいります。



当日ご登壇いただいた皆様のご紹介

コーディネーター

コミサポひろしま 事務局長 増田勇希さん

シンポジスト（話題提供）

近江八幡市総合医療センター 大坂雅史さん

近江八幡市危機管理課 青島裕明さん

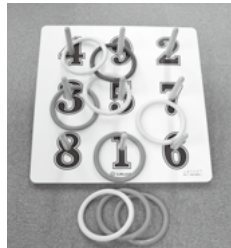
株式会社日吉 鈴木 正さん

レクレーション備品の貸出

手づくりのおもちゃや、輪投げ、フロアーバスケットなど様々な備品を貸出しています。市内でのサロン活動、子ども会、地藏盆、クリスマスのイベントなどで借りられる方もおられますので、ご興味がありましたら、ぜひ社協までお問い合わせください。



的あて



輪投げ



フロアーバスケット



ダーツ

車いすの貸出

市内にお住まいの方で病気やケガで一時的に車椅子が必要な方に、無料で車椅子の貸し出しを行っています。

短期間での車いすが必要な方は、近江八幡市社会福祉協議会の窓口までお越しください。

貸し出している車いす

- 自走式
(介助者が押すことも、乗っている方が動かすことも可能な車いす)
 - 介助式
(介助者が必要な車いす)
- 利用料 : 無料
貸出期間 : 1か月



近江八幡市内社会福祉法人入職5年目以内職員座談会を開催！

社協では、近江八幡市の社会福祉の充実をめざして、福祉人財の定着と横のつながりをつくることを目的に市内の社会福祉法人で働く、入職5年目以内の職員を対象に8月2日に座談会を開催。9法人11事業所より18名が参加されました。

社会福祉法人おうみ福祉会統括施設長野村真愛さんに、地域とのつながりを大切



社会福祉法人の職員が分野を超えて交流

をしていただきました。

今後も、横のつながりを大切に福祉活動ができるようなきっかけづくりを行っていきたいと考えています。

切にしてこられたことなどを話題提供いただきました。また、グループに分かれ、感想、私の仕事・職場の魅力について共有。最後に、「地域の方に自分を覚えてもらう。」「知らんぷりをしないようにする。」「自分からの発信や、やりたい気持ちを大切にする。」など思いのこもった決意表明



野村施設長より話題提供



自分の決意表明を手に集合写真を撮影

近江八幡市防災総合訓練において 災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

8月25日（日）に近江八幡市立運動公園で開催された、市防災総合訓練において、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を社協職員9名、市職員2名で実施。SNSでの情報発信、困りごとの受付、ボランティア受付・活動紹介など実際の流れに即して、今回はスムーズに情報共有を図るため、初めてICT（インターネットによる情報管理の仕組み）を活用して訓練を実施しました。

災害ボランティアセンターは、大きな災害が起こった時に、被災された方の困りごとと、自分にできることで支援したいという思いを持ったボランティアをつなぐ役割があり、市災害対策本部から要請を受け、社協が運営の中心を担う役割があります。毎年学区サテライトセンターおよび自治会域の見守り支えあい活動と連動した地域住民の皆様と協働のための訓練を実施しており、今年度は、12月8日（日）に老蘇学区での訓練を予定しています。



困りごとを聴き取る現地調査訓練



ボランティア受付・活動紹介訓練



ボランティア活動訓練



クラウドシステムへの入力

ぬくもりを感じながら 手づくりおもちゃ

「手づくりおもちゃの会」は、平成10年、障がい者（児）や高齢者、地域サロンの方々が「安心して、楽しく遊びやリハビリが出来るよう「布おもちゃ」を手づくりするグループとして発足しました。毎月2回（基本第2・第4木曜）、市内在住の50代から80代の方15名がひまわり館ボランティアセンターで活動されています。会員の皆さんは口々に「人生が変わりました」とおっしゃいます。午前10時から午後3時の間、それぞれの都合に合わせて参加、皆でわいわい、がやがや、アイデアを出し合いながら作業をされていました。



興味はあっても一人では出来ないことが、ここに来ると皆で作り上げられる。気を張らない、ありのままの時間を過ごしていると、ある会員さんは話されました。

今年の平和祈念式では、小学生の折った鶴を千羽鶴につなぎ合わせる依頼を受けて、会員とその友人たちが一生懸命仕上げました、とのこと。普段の縫物とちがって、慣れない作業で大変でしたが楽しい思い出です、と代表の瀬古和子さん。「手づくりおもちゃの会」が作られた布おもちゃは社協で貸し出しをしています。的当てゲームや魚釣りゲーム、布オセロなど楽しい布おもちゃが色々あります。今年はクリスマスストーリーがリニューアルしました。ぜひ、サロンや子ども会などのレクリエーションにご活用ください。貸し出しは社協窓口で行っています。



福祉フェスティバル デイサービスひまわりでの体験



今回の福祉フェスティバルで、デイサービスセンターひまわりでは、「笑顔の実がなる樹・ありがとうでいっぱいの木」をテーマに来場していただいた方々に「夢」「感謝」「幸せ」などのメッセージを書いていただきました。書きたい事が色々あり悩まれたりもしてい



ましたが、たくさんの「実」をつける事が出来ました。デイサービス利用者体験では、ピン球をおはしやスプーンを使ってコップにうつすゲームにチャレンジしていただき、たくさんの笑顔があふれました。

体操では、足ぶみをしてもらい、「こんなにも歩いたの!？」などの声もきかれていました。

フードドライブポストについて

令和6年3月11日（月）に、バローホールディングス、近江八幡市、近江八幡市社会福祉協議会の協働により、バロー近江八幡店にフードドライブポストを設置しました。

フードドライブポストは、買い物にいらしたお客様からご家庭で使い切れなくなった食品をご提供いただく取り組みです。社協の職員が定期的に食品を回収し、市内の子ども食堂や子育て支援団体にお届けしています。この活動は子どもたちにお腹いっぱいになってもらい、笑顔になってもらうことを目的としています。現在、市内には18か所の子ども食堂があります。



3月の設置以来、回収率は好調で、1回の回収で10点以上の食品が集まる事もあります。寄付品目としては、お菓子、缶詰、缶ジュース、調味料、レトルト食品、インスタント食品が多く、その他にもお米、うどん、そうめん、お茶パック、コーヒーなども寄せられています。



子ども食堂の代表者の方々からは、「いただいた食品でデザートを作り、子ども食堂で提供しました。」「お菓子をお土産として子どもたちに持って帰ってもらっています。ありがとうございました。」といった感謝の声をいただいています。社協ではこの活動を継続し、子どもたちのために地域貢献を続けてまいります。地域の皆様からのご支援に心から感謝申し上げます。今後ともフードドライブポストへのご協力をよろしくお願い致します。

心配ごと 相談所

どこに相談すればよいのか…。
そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談ください。
民生委員・児童委員が相談を聴いて、行政や関係機関につなげます。

相談日：平日の偶数日（祝日を除く） 13時～16時
場 所：総合福祉センターひまわり館

11月 2024							12月 2024							1月 2025						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30	31	

ありがとうございます！



善意銀行便り

令和6年8月1日～令和6年9月30日

心温かいご寄付をいただきました。
皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。
(敬称略・順不同)

預託

◆寄付金

- 藤田花・愛…………… 1,500円
- 国際ソロプチミスト近江八幡
会長 重野 満子…………… 100,000円
- 匿名4件…………… 46,968円

◆寄付物品

- 高畑善憲…………… 男性肌着15袋
調理器具30点
- 野田電気設備管理事務所
…………… 玄米60kg
- 岡田和久…………… 玄米30kg
- 匿名7件…………… 米88kg
食料品97点
日用品2点

◆払出

◆払出物品

- 子ども食堂9か所…………… 米20kg
洗剤4点
食料品16点
- 子ども支援団体1か所…………… 米10kg
- 障がい者施設1か所…………… 米10kg
- 社協事業…………… 米8kg
- 生活困窮者…………… 食料品15件
日用品5件

広告を募集しています。

近江八幡市社会福祉協議会の
広報紙等への広告を募集しています。

広報紙

当会広報紙に広告を掲載します。



広報案内板

ひまわり館の玄関左側、広報案内板に広告を掲示します。



車両

デイひまわりの車両の両側面に掲載します。



バナー広告

社協ホームページのトップページに記載します。



詳しくは、社協までご連絡ください。 Tel **0748-32-1781** Mail **ohshakyo@gmail.com**

編集 後記

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、、、
たくさんの秋がありますが皆様はどのような秋をお過ごしでしょうか？
9月に第1回福祉フェスティバルが開催され皆様の笑顔に触れることができ、嬉しく思います。
またこの機会に福祉や社協の活動に少しでも興味をもってもらえれば幸いです。
寒さが厳しくなっていきますが、しっかり食べて、体を動かし、よく寝て体調を整えていきましょう。



- インキ：環境配慮型インキ
(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷



この広報紙は会費と共同募金の
助成金でつくられています

令和6年11月1日発行

ふくしのお困りごとは市社協まで！ 0748-32-6111